



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2023年10月31日



オープンを祝いテープカット



開店を待ちわびる買い物客

青森中央学院大学で行われた締結式では、柳谷理事長と青森田中学校の石田理事長が協定書を交わした。柳谷理事長は「企業の人手不足は年々

深刻になっており、あわせて将来の青森県の担い手となる若者の県内定着も大きな課題となっている。協定締結により、これまで以上に相互の連携を密にし、企業、大学、学生、地域の発展に大きく貢献できれば」と力強く語った。石田理事長は「互いに距離も近く、いろいろなことが対面式で実現できる。われわれも地域の中核的な教育機関として頑張っていきたい」と述べた。

組合と青森中央学院大学などを運営する学校法人青森田中学校は9月25日(月)、人材育成や地域課題に向け密接に協力していくための連携協定を締結した。両者はこれまで、組合や青森県流通団地連絡協議会が実施する企業セミナーや企業見学会の開催、問屋町版インターシップへの学生受入などで連携して事業を実施してきた。今後も継続的に学生の地域定着に向けた教育や地域の活性化活動を推進していくため、今回の協定締結に至った。



連携協定締結式

県内でスーパーマーケットを展開する組合員の(株)マエダが問屋町で進めていた「マエダストア問屋町店」の新築工事がこのほど完成し、9月7日にオープンした。同店の売り場面積は約970平方メートルで、駐車台数は78台を確保。営業時間は午前9時から午後10時までとなる。当日は開店前にもかかわらず店の前に300人ほどが長蛇の列を作り開店を待ちわびていた。オープンすると買い物客は野菜や魚、果物、総菜などお目当ての商品を次々と買い求めていった。スーパーを利用した組合員は「会社の近くにスーパーができたのはすごくありがたい。お昼休憩や会社帰りにたくさん利用します」と話した。問屋町にはこれまでコンビニエンスストアや飲食店の出店はあったが、大型小売店の出店は今回が初めてとなる。マエダストアの出店は組合員従業員だけでなく地域住民にとっても利便性が高まり、多くの市民が訪れることで問屋町に新たな賑わい創出も期待される。

問屋町にはこれまでコンビニエンスストアや飲食店の出店はあったが、大型小売店の出店は今回が初めてとなる。マエダストアの出店は組合員従業員だけでなく地域住民にとっても利便性が高まり、多くの市民が訪れることで問屋町に新たな賑わい創出も期待される。

## 問屋町に新たな賑わい マエダストア問屋町店オープン

### 青森田中学校と人材育成 などの連携協定を締結



買い物客で賑わう店内



広告棟でオープンをPR

第 5 回 理事 会

2023年度第5回理事会が9月25日(月)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは問屋町版インタナショナルシップや防災訓練の実施状況などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。案件一、労務対策委員会からの意見について

ボウリング大会の開催やインフルエンザ集団予防接種の実施などが承認された。

案件二、学校法人青森田中学校との連携協定締結について

防災訓練を実施

9月15日(金)に11回目となる問屋町防災訓練が問屋町会館で開催され、組合員25名が参加した。青森市危機管理課、青森地域広域事務組合消防本部から指導員を招いて、訓練は行われた。

当日は大平環境対策委員長の挨拶の後、参加者を2班に分けて、救命訓練と水消火器を使った火災時訓練を実施。救命訓練では、心肺蘇生法とAEDの使い方について訓練器具やデモ機を使いながら学んだ。火災時訓練では、火災時の対応について講話を聞



水消火器を使った火災時訓練

最後に青森市危機管理課の沼山主事が日頃からの防災対策についての講話を行い、訓練は終了した。

交流会などで親睦を深める 同友会・青友会



日頃の防災対策についての講話

青森問屋町経営同友会(同友会)と問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の第8回合同交流会が9月29日(金)、ア

トホテル青森で開催され、両会会員ら39名が参加した。青友会の坪谷会長の挨拶の後、同友会の河田会長による乾杯で懇親会は始まった。懇親会では、はじめに同友会で恒例のダイエツトグランプリの中間測定が行われ、その後、交流会恒例の出席者全員による1分間スピーチを行った。今回のテーマは「好きな食べ物」。出席者各々の好きな食べ物のほか、おすすめのお店などが紹介され会場は大いに盛り上がった。

また、9月16日(土)には25回目となった両会合同のゴルフコンペが青森カントリー倶楽部で開催された。



合同ゴルフコンペ

問屋町ビジネススクールは、9月8日(金)に問屋町会館において無料の特別講演会を開催した。今回の講演会は会場受講とオンライン受講を併用して行われ、合わせて34名が受講した。

特別講演会を開催 問屋町ビジネススクール

案件三、つなぎ資金の借換について 案件四、2023年度第6回理事会の日程等について



ビジネススクール特別講演会

「ナー」と題した講演会では、原材料価格の高騰等で苦慮する中小企業が今何をすべきか、その具体策について成功事例も交えながらわかりやすく解説した。

ドローン体験会を開催

9月21日(木)に青森市はまなす会館にてドローン体験会を開催。講師は、国内有数のドローンパイロットであり、組合員のコクサイ通信特機(株)の中村社長が務め、組合



ドローン体験会

井村講師は「成功している企業は社員の幸福度向上に積極的に取り組んでいる。社員を大切に、会社のありたい姿を見出して社員と共有する。そうすると社員から新しいアイデアが生まれ、実現し評価されると更に社員の幸福度が増す。この好循環を生み出してほしい」とまとめた。

員従業員ら11名が参加した。参加者は想像以上に繊細な操作が求められるドローン操縦に四苦八苦するなか、上手く操縦に成功すると歓声をあげ喜び、楽しみながら操縦方法を学んだ。

当日は両会会員ら21名が参加し、爽やかな秋空のもとプレーを楽しんだ。優勝は(株)伊藤園の大夫支店長がV2を達成。ベストグロス賞は青果流通機構(株)の長内専務が獲得した。



事業内容 医療機器、院内ソリューションの提案・設置・メンテナンス等 映像音響及びICT機器の提案・システム構築・設置・保守等 各種イベント運営からハードレンタル、オペレーション業務等

コセキ株式会社 本社：宮城県仙台市青葉区地通南宮町2番26号 TEL 022(272)2211 青森営業所：TEL 017(738)4506 (青森県青森市問屋町二丁目20番5号) 八戸出張所：TEL 0178(21)6636 (青森県八戸市下長一丁目16番21号)

海産乾物問屋 昆布を食べよう

株式会社 丸毛最上商店

青森市問屋町二丁目14番22号 TEL 017-738-5891 FAX 017-738-5895 http://www.mogami.biz

### 問屋町たんしん

▼第47回問屋町ボウリング大会

日時 11月24日(金)  
12月1日(金)  
各日午後7時～8時30分  
会場 アオモリボウル  
参加料 1人 1200円  
※2ゲーム

▼フラワーアレンジメント教室

日時 11月22日(水)  
午後6時30分～7時30分  
会場 問屋町会館  
2階大会議室  
参加料 無料  
定員 40名

▼問屋町ビジネススクール別講演会

日時 12月8日(金)  
午後1時30分～3時30分  
会場 問屋町会館  
2階大会議室  
※オンライン受講可能  
参加料 無料  
講師 経営コンサルタント 波多野事務所 代表 波多野 卓司氏

### 業務報告

…主要事項…

- 9月 3日▼第2回問屋町緑のボランティア隊
- 5日▼安協問屋町支部第2回街頭指導
- 11日▼第4回集団健康診断
- 14日▼第6回問屋町合同清掃
- 15日▼金融審査会
- 16日▼第11回問屋町防災訓練
- 20日▼同友会・青友会第25回合同ゴルフコンペ
- 20日▼第2回労務対策委員会
- 21日▼カードゲームで楽しく学ぶSDGs
- 21日▼問屋町ドローン体験会
- 24日▼第3回問屋町緑のボランティア隊
- 25日▼第5回理事会
- 26日▼青森田中学校との連携協定締結式
- 26日▼安協問屋町支部第3回
- 27日▼問屋町経営同友会第3回役員会
- 29日▼同友会・青友会第8回合同交流会
- 27日▼街頭指導
- 7日▼話が伝わらない人と伝わる人の決定的な差
- 8日▼利益確保セミナー
- 12日▼組織活性化のための相談技法
- 21日▼簿記の知識がなくても決算書が見れるようになる
- 28日▼中途採用者即戦力化セミナー

### 問屋町ビジネススクール

### 経済雑感

青森県商工会連合会 専務理事 前多 正博

第70弾となる今回の経済雑感は、青森県商工会連合会の前多専務理事にご寄稿いただいた。

規模から中堅・大企業までの規模であるのに対し、商工会は主に町村の区域で、小規模事業者が会員の中心です。商工会は事業者の帳簿指導をはじめとする経営全般での支援に係る業務を行うほか、地域総合支援の業務として、地域の夏祭りや商店街の売り出し、共通商品券の発行など行っています。また、商工会では各種共済も取り扱っています。



青森県商工会連合会 専務理事 前多 正博氏

指導や広域的な課題への対応を行っています。また、商工会単体は小規模なところもあるものの、複数で連携して取り組むものもあります。次に、地域の事業者の現状についてみてみます。今年発表された令和3年の「経済センサス活動調査」によると青森県内の小規模事業者数は約3万7千5百で、5年前のセンサスからは約3千5百、平成24年からは約5千6百の事業所が減少しています。もし、同様の増減率で推移した場合、10年後にはさらに6千の事業所が減少し、その数は約3万1千

事業所と推定されます。人口減少社会で消費や経済活動も縮小していくのでしょうか。事業所数減少の原因は、人口減少や経営者の高齢化などと考えられています。中小企業庁の調査によると、中小企業経営者の年齢分布は平成7年に47歳が最多であったものが30年には69歳に引き上がっています。高齢化社会の進展は、特に町村部でその進み方が早く、一方では後継者のいない事業所も多くなっています。後継ぎがないと廃業を考えると、今後は懸念される地域の事業者の現状ですが、次回は最近の動向とこれからの姿を考えてみたいと思います。(つづく)

**アピイ** (Apie) logo and services:

- 住宅型有料老人ホーム アピイライフ (40床)
- 住宅型有料老人ホーム アピイクオレ (45床)
- 居宅介護支援事業所 アーサス
- 訪問介護事業所・障がい福祉事業所 アーサスケア
- 訪問看護事業所 アピイ訪問看護ステーション
- 福祉用具貸与・販売事業所 アピイライフイド

株式会社アピイ 青森市問屋町1丁目7番地21  
TEL 017-757-8681 / FAX 017-757-8677

建設から暮らしまで **カクヒロ** 灯油・LPGのご用命は当社へ

**(株)角弘 青森燃料センター**

青森市第二問屋町3-10-10  
TEL 017-762-3866

地域の一員であるみちのく銀行は、事業承継・M&Aを支援いたします。

新たな専門分野に取り組み蓄積された **ノウハウ** × 地域に根を張り長年継続して得た **情報網** × お客さまと共に **プロフレアホールディングス**

**みちのく銀行** 第二問屋町支店 Tel.017-739-1100

**ENEOS EneJet DOUTOR**

青森市第二問屋町4-10-26  
**EneJet問屋町SS**

TEL 017-762-1676  
**ドールコーヒーショップ EneJet問屋町店**  
TEL 017-729-1470

### 乾電池共同回収実験 事業がスタート

今年度、実験事業として取り組む乾電池共同回収の1回目が9月27日(水)に行われた。

回収当日は、問屋町内の事業所において処分できずに溜まっていた使用済み乾電池が大量に組合会館に持ち込まれ、43社から250kgもの乾電池が回収された。

事業所から排出される乾電池は産業廃棄物扱いとされ、これまでには組合員各社が個別に収集運搬及び処分の契約を結び対応する必要があった。そこで組合では、組合員の負担を軽減するため乾電池共

### 団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、(株)ムラバヤシの伊原社長にお話を伺った。

同社は、管工機材・空調機器・自動制御機器の販売とアフターサービス業務の会社として昭和27年に創業。アフターサービス業務を行うグループ会社のエイ・スィーサービス(株)と共に、青森本社では津軽及び下北エリア、十和田営業所では南部エリアをメインに営業活動を行っている。

「当社の取り扱い商品は幅広く、TOTO製品から大型ボイラー、空調エアコンやポンプ類まで、商品の販売とアフターサービスを行っていま

同回収の実験事業を実施することとなった。

回収にかかる費用は5kgまでは無料、超過分は100gにつき15円を利用組合員が負担する。

今回の回収は2024年3月27日(水)となっている。



乾電池共同回収

### カードゲームで楽しく学ぶ SDGs研修を開催

9月20日(水)に問屋町会館1階会議室においてカードゲームを使ったSDGs研修を開催した。講師はSDGs取組先進企業の組合員リコージャパン(株)の坂本氏が務め、組合員従業員ら14名が参加した。

研修の教材として使用した「SDGs ババ抜きカードゲーム」の基本ルールはババ抜きと同じ。SDGsのゴール1から17×2枚+ジョーカー1枚の計35枚のカードがあり、このカードを手札とし順番に引いていく。独自のルールとして、手札のカードが揃い捨



カードゲームでSDGsを学ぶ

てる際に同じ番号が書かれた「アクションカード」の指示に従う必要がある。指示に従うとSDGs各ゴールの課題が知れる仕組みとなっている。参加者はカードゲームを楽しみながら、SDGsへの理解を深めた。



(株)ムラバヤシ  
代表取締役社長  
伊原 康彦氏

す。故障など何かあった時にフォローできる体制がしっかりあるところが当社グループの一番の強みです。最近では小中学校等で使われていたボイラー暖房からエアコンへの交換や、和式トイレから洋式トイレへの切り替え工事が増えています。

今後の取り組みについて「社長に就任して半年になりました。今は会長や社員に助けをもらって毎日やっている状況なので、何事にもとにかくがむしゃらに取り組みながら、当社の強みでもあります。よりよい商品の販売とサービスを今後も提供していきたいです。またSDGsの

推進や地域にも貢献できるように取り組みをしていき、将来に渡ってお客様に必要とされる会社にしていければと思っています」と力強い。

「日々の生活を見かけられるので、とても便利だなと感じます。加えて綺麗なフラワーボックスが置いてあったり、中央分離帯にも花が植えてあるのを見て、以前と比べて団地の景観が良くなった印象です」と話す。

問屋町の印象については「問屋町大通りに設置されている組合員の案内看板は、県外から初めて来るメーカーや仕入れ先の方が車を停めて会社はどこにあるのかを探しているのを見かけられるので、とても成功する」と続けると最後には成功するという意味で話した。今度主として営業職をやったので、新規のお客様に對しては毎日少しずつでも継続して営業することを大切にしています」と締めくくった。

(57歳)

### 編集後記

9月7日に待望のスペース1マダ問屋町店がオープンしました。開店初日には特売品目当てに長蛇の列ができていました。中規模店とのことですが、店内には野菜や果物、肉や魚などの生鮮品からパン、菓子、飲料など充実した品揃えです。特別にお弁当が好評で、組合員従業員さんのお昼や夜ご飯の強い味方になっているみたいです。さて、商工中金ユース会の全国大会で石川県金沢市に行ってきました。4年ぶりに訪れた金沢市の観光客の多さ、それもインバウンドの海外からの方が非常に多くてびっくりしました。

★青森総合卸センター組合員様は、『集団割引』が適用！  
⇒がん保険も医療保険も割安な保険料でご契約頂けます。

◆お問い合わせは『青森総合卸センター総務部』  
…または、直接『(株)RAB企画・保険部』まで。◆

〒030-0113 青森市第二問屋町3丁目2-35  
株式会社RAB企画 保険部  
【電話番号 017-739-1674 (保険部直通)】



「生きる」を創る。

